

## 新葛飾橋 最後の送出し架設・降下作業の現場見学

平成 26 年 7 月 28 日  
さいたま工事事務所 葛飾工事区

- ◎実施日時 :平成 26 年 6 月 26 日(木) 21:00 ~ 翌 5:00  
:平成 26 年 7 月 8 日(火) 21:00 ~ 翌 4:30
- ◎実施場所 :東京外環自動車道 新葛飾橋(鋼上部工)工事 現場内 (江戸川右岸)
- ◎実施者 :さいたま工事事務所 葛飾工事区
- ◎参加者 :東金町 7・8 丁目自治会(副自治会長他約 10 名)  
報道関係 2 社

さいたま(工)葛飾工事区では、関係自治体及び地元住民の皆さまにご協力を頂きながら、東京外環自動車道の一部となる東金町高架橋および新葛飾橋の建設を進めています。今回、新葛飾橋の上部工の送出し架設および降下作業を行うにあたり、現場見学会を行いました。今回の見学会は、地元の住民だけでなく、報道関係の方々もお呼びしての開催となりました。

新葛飾橋は、東京都と千葉県の県境に位置し、一級河川・江戸川を横断する、橋長 506m の箱桁橋です。架設にあたっては、合成床版まで載せられた主桁を対岸の橋脚に向かって滑らせながら伸ばしていく「送出し工法」が採用され、今回の作業は新葛飾橋の上部工工事の中で最後の送出しとなりました。

6 月 26 日の 1 夜間で鋼重約 700t もある上部工が交差点の上空をゆっくりと通過し、橋脚上部の降下装置まで約 100m 送り出されました。送り出された上部工は、手延べ桁を切断した後、7 月 8 日の深夜に橋脚上に降下されました。夜中にもかかわらずたくさんの地元の住民の方々が見に来て下さり、作業の様子に興味を持たれていました。

今後もさまざまな方に現場や工事の様子を知っていただくために、職場体験や現場見学会を通じて発信できるよう、努めていきたいと思えます。



写真-1. 送出し当日の様子



写真-2. P160 に向けて桁が伸びていきます



写真-3. 近隣住民の方が見学に来て下さいました  
葛飾区と外環に対する思いをしみじみと話して下さいました



写真-4. 所定の位置まで送り出されました  
この後降下作業に移ります